

**防災協力に関する日中韓三国間の共同声明**  
**2017 年 9 月 7 日 中国・唐山**

我々、日中韓防災担当閣僚は、2017 年 9 月 7 日、中国河北省唐山において第 5 回日中韓防災担当閣僚級会合に参加した。

我々は、三ヶ国のみならず全世界において、洪水、台風、地震、津波を含めた自然災害によって尊い命が失われ、甚大な被害を受けたことについて、深く哀悼の意を表した。我々は、1976 年の唐山地震を決して忘れていない。我々は、過去 40 年間の災害復興と新しい唐山の建設において達成された成果を高く評価した。

気候変動が北東アジアの持続可能な成長に潜在的な影響を及ぼしており、それによって異常な気象現象が頻繁に発生し、災害リスクにさらされる場所や、自然災害損失と損害が拡大している地域があることを確認した。

我々は、三ヶ国とその国民の利益のために、気候変動に対処し、災害リスクや損失を効果的に最大限に減少させるためには、三ヶ国の共通の行動が必要であることを再認識した。

我々はまた、過去4回の日中韓防災担当閣僚会合の成果を振り返るとともに、「仙台防災枠組 2015-2030」を実施する上での三ヶ国の実施状況を報告した。これにより、中国、日本、韓国の災害リスク削減と救援の実践的な三国間協力を改善することが提起された。

以上のことを踏まえて、我々は今後、以下の分野での協力を推進することを確認した。

## 1. 仙台防災枠組 2015－2030(SFDRR)の推進を継続

- a) 予防、緩和、準備、対応、復旧・復興に関する能力を促進するため、SFDRR 及び SFDRR 実施のためのアジア地域計画の実施に関し、特に唐山の復興がその優良事例であることを踏まえ、“Build Back Better”の実施について、情報と経験を三ヶ国間で共有することを増進する。
- b) SFDRR の優先事項に沿って、今後の施策の目的、インプットの増加、グローバル・ターゲットを達成するための対策の改善とその進捗の測定について、交流を促す。

## 2. 災害リスク削減と救援のための能力の強化

- a) 三ヶ国において開催される災害予防や防災の分野の科学技術に関する会議、フォーラム、展示会に積極的に参加し、それによって政策対話の促進、科学技術による災害リスク削減に対する貢献に関する経験と実践の共有、アジア諸国における災害リスク削減に関する科学技術の応用を促進する。
- b) 中国国家防災センター(NDRCC)、アジア防災センター(ADRC)、国際防災教育研修所(GETI)を含め、三ヶ国に存在する国際的・地域的な教育訓練機関に十分な役割を果たさせ、防災及び災害リスク削減に係る能力開発などの訓練に関する三国間協力を実施する。
- c) 災害救援物資備蓄の管理に関する情報交換を促進し、三ヶ国の関連施設の訪問を企画し、共同机上訓練(TTX)を通じた相互学習による人的交流を促進する。
- d) コミュニティの総合的な災害リスク削減のための能力を共に向上させ、世界津波の日についての認識を高めるため、コミュニティにおける防災に関する情報や経験を交換する。

- e) 三ヶ国における市民団体間の協力を促進するため、災害リスク削減のための市民社会の参加についての経験と教訓を共有する。

我々は、防災における協力を推進することを目的とした日中韓三国協力事務局(TCS)の取組を評価する。我々は、共同声明の進捗管理に、TCS を可能な限り関与させることとする。ホスト国は、次回会合まで、当会合にて合意された事項についての進捗管理を行う責任を負う。

我々は、隔年会議開催の原理に基づき、第 6 回日中韓防災担当閣僚級会合を韓国で開催することについて合意に至った。我々は、2017 年 9 月 7 日、中国の唐山において、共同声明に署名し、英語表記の声明を取り交わした。

---

日本国  
内閣府  
副大臣  
ふくだ峰之

---

中華人民共和国  
民政部  
副部長  
顧朝曦

---

大韓民国  
行政安全部  
次官  
柳熙寅